

(2)講座を組む上でのポイント ～東京学芸大子ども未来プロジェクト専門研究員 山田修平さんに聞く～

各教室を見学した際に、子供の見守りをしているパートナーさんと立ち話をしながら、パートナーさんたちが学びたいものと「ひのっち」を運営していく上で必要なニーズをつかんできました。日野市の場合、ニーズに応じて特別支援に関する知識、新たな遊びのメニュー、子供への接し方を講座に組んできましたが、「ひのっち」の活動の優れている部分を伸ばすことが子供にとっても魅力になると考え、各「ひのっち」の活動を紹介する「ひのっち交流会」を講座の最後にすえました。また、タイトルを「研修」ではなく、「ひのっち」関係者がリフレッシュして再び元気になることを願って「ひのっちチャージ」としました。



平成21年度 日野市子育てマンパワー育成事業 ひのっちチャージ 講座一覧 (東京学芸大学提供資料)

講座名	日程 場所	講師
①★ 子どもにとって魅力的な大人とは?	7月21日(火) 9:15~10:30 実践女子大学 香雪記念館	松田 恵示 (東京学芸大学准教授)
ひのっちパートナーとして子どもに公的に関わる立場の人間が、心得として持つべき意識・担える役割について、考える講義です。		
② 子ども集団の心理	9月25日(金) 10:00~11:30 生活・保健センター3階集会室	杉森 伸吉 (東京学芸大学准教授)
子どもの心の発達を学ぶ。具体的な事例も紹介しながら、子ども集団の心理を学び、理解して【ひのっち】に関わることを目指す講義です。体験活動と学力低下の問題への対応や、遊びの持つ社会性の育成効果についてもお話します。		
③★ 絵本の魅力 -あそぶ・つくる・まなぶ-	10月6日(火) 9:15~10:30 実践女子大学 香雪記念館	正木 賢一 (東京学芸大学准教授)
「あそぶ」「つくる」「まなぶ」をキーワードに、子どもたちの感性と知性を刺激する多様な絵本の世界を紹介します。		
④ 問題解決や対処の方法を考える ワークショップ	10月17日(土) 13:00~14:30 東部会館3階ホール	村川 雅弘 (鳴門教育大学教授)
危機管理に関してワークショップ形式で学ぶ講座。参加者が具体的な事例に関してグループで対応方法を検討し、実際にロールプレイを行ないます。学ぶだけでなく、実体験することを通して、もしもの際に対応できるスキルの意識の習得を目指します。		
⑤ 遊び・場づくりの マネジメント・ワークショップ	10月17日(土) 15:00~16:30 東部会館3階ホール	村川 雅弘 (鳴門教育大学教授)
子どもに関わる大人として、子どもへの注意は重要なことです。しかし、叱る前に、叱る場面を減らす工夫を考えてみませんか。遊び・場づくりについてグループで考えるワークショップです。		
⑥ 子どもに関わる ソーシャルスキル(傾聴スキル)	11月6日(金) 10:00~11:30 市役所505-1・2会議室	藤枝 静暁 (川口短期大学講師)
ソーシャルスキルとは、社会の中で他人と交わり、共に生活していくために必要な能力です。子どもに関わる場面に必要なソーシャルスキル【傾聴スキル】を学びます。		
⑦ がまんする力は どのようにして育つのか?	12月7日(月) 10:00~11:30 七生公会堂	大河原 美以 (東京学芸大学教授)
遊びの中のトラブルの際、どのような声かけをすることが、我慢する力を育てる援助になるのかを学びます。		
⑧ 遊びの実践 -絵本づくりのレシピ-	1月12日(火) 10:00~11:30 多摩平ふれあい館 集会室5・6	正木 賢一 (東京学芸大准教授)
絵本づくりのレシピを紹介しながら、実際に簡単な絵本づくりの演習をおこないます。		
⑨ ひのっち交流会	2月12日(金) 9:00~11:30 市民会館大ホール	子育て課 ひのっち 東京学芸大学
ひのっちに関わる市民のマンパワーの情報共有を目的とする交流会です。参加者のみなさんで意見交換や評価をしながら気持ちをリフレッシュしてみませんか。ひのっちマインドのチャージを目指す会です。		

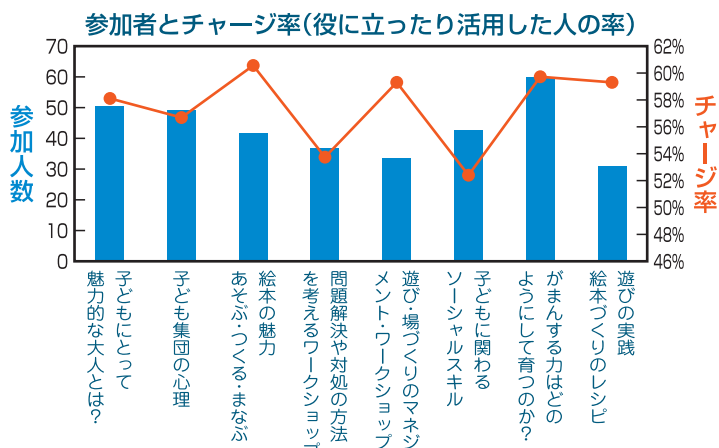
★「子ども」について、「はじめて」又は「これから」かかわる方などを対象としたものです。

(3)「ひのっちチャージ」参加者アンケートから

「ひのっちチャージ」は、延べ437名が参加し、すべての講座に参加した人は9名でした。

講座の参加者のなかで、講座後、自分の活動に「役に立ったり活用した人」の割合(チャージ率)が50~60%に及びました。

また、「ひのっちチャージ」に参加しなかった人にもアンケートを配布し、意見を尋ねたところ、「時間の都合が合わない」「場所が不便である」「参加できなくても資料をいただきたい」など参加しやすい時間、場所、システムへの要望があることがわかりました。



注)棒グラフは参加人数。折れ線グラフはチャージ率。